

教材教具名 かるた

教科（国語）

情報提供者（ ）



教材教具写真

教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

文字に対する興味や関心を高める。

2 発達段階など

文字と言葉を習得する時期

3 使い方

「あいうえおの本」の絵をスキャナで取り込み絵カルタにする。

- ① 絵カルタと絵カルタのマッチング
- ② 絵カルタと文字の入った絵カルタのマッチング
- ③ 絵カルタと言葉カードのマッチング
- ④ 絵カルタに合う言葉の一つ一つの文字を探し言葉にする。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）

子供たちが1年生からあいうえおの歌（「イロトリドリ」の替え歌）とともに、「あいうえおの本」の絵に親しんでいたこともあり、カルタにして絵カード同士のマッチングはすぐできた。その後毎回子ども達に声を出してカルタと言葉を学習していくことで、一つ一つの文字のつながりにも興味がわいてきた。最初は2文字から初めて、3文字へと段階を上げていっている。必ず声に出して、目と耳から「言葉」や「文字」に着目させていくとよいと思う。50音の一つ一つのカードを4組作っておけば、いろいろな言葉作りをしたり、文字だけのカルタをしたりなどいろいろな学習に使用できる。